

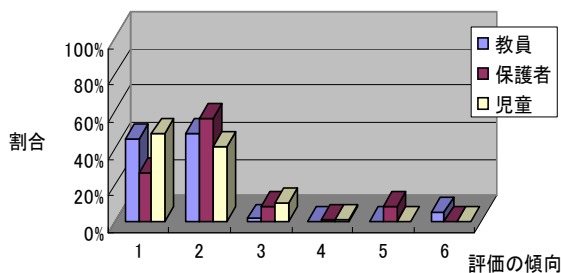
平成21年度 中央区立明石小学校 自己評価報告書		
学校名：中央区立明石小学校	所在地：中央区明石町1-15	
校長名：岸本修二		
児童数203名	学級数8（含別支援学級2）	教員数14名 職員数9名

※評価基準 1よくあてはまる 2あてはまる
3あまりあてはまらない 4あてはまらない
5よくわからない 6無回答

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標1 国語の力を活用する児童を育成する

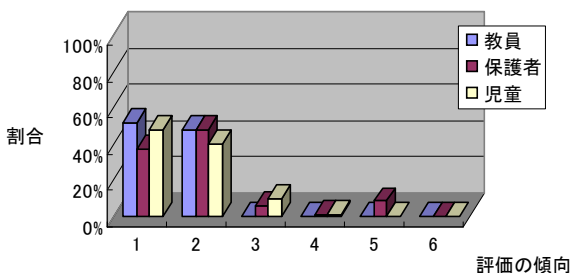
児童、保護者、教員とも、肯定的な評価が多く、目標は十分に達成されている。2年間にわたる国語科の研究の成果が現れていると考えられる。しかし、教員の自己評価(93.3%)、児童の感想(95.5%)ほど保護者のアンケート結果(82.5%)に強い傾向が見られず、「5. よくわからない」が7.9%ある。学習指導における学校の取り組みが、十分に保護者に理解されていない面があると考えられる。今後、保護者に対し学習指導についての理解をさらに図る必要がある。



1 国語の力を活用する児童を育成する

重点目標2 人とかかわる心をはぐくむ

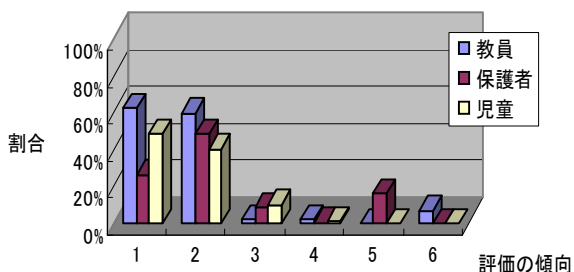
重点目標1とほぼ同様の結果を得た。児童(93.3%)、保護者(85.2%)、教員(99%)とも肯定的な評価が多かった。あいさつや返事は昨年を引き続きは地域や来校者からの評価が高い。「明るく元気な明石の子」は明石の子ども像として理解されている。保護者アンケートでは「5. よくわからない」が8.2%ある。なかでも栽培活動、省エネルギー学習、CO2削減アクションなどの体験的な学習に対しての理解が不十分であった。今後、保護者にはより具体的な形で周知し、家庭の協力を求めていく必要がある。



2 人とかかわる心をはぐくむ

重点目標3 体力作り・健康づくりを推進する

重点目標1及び2とほぼ同様の結果を得た。児童(88.8%)、保護者(74.9%)、教員(91.7%)とも肯定的な評価が多かった。しかし、保護者アンケートでは「5. よくわからない」が16.1%と、重点目標1及び2と比べて約2倍である。マイスクールスポーツ



3 体力づくり・健康づくりを推進する

ーツであるなわとび、マーチングバンド、ドッジボールやミニバスケットボールなどの課外活動に対する保護者の理解が不十分であった。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況

今年度は重点目標の他、全方位的な18の観点をもとに、教員、児童、保護者アンケートを実施した。

その結果、児童の肯定的な評価が8割を超えていて、児童が一人ひとりが十分に満足して学校生活を過ごしているということがわかる。

教員側の評価も肯定的であることから考えると、教員と児童との関係がとてもよく、学校としての役割を十分に果たしていると思われる。

児童アンケートでは、「1. 勉強は好きですか」(78.7%)「13. 毎日勉強していますか」(83.1%)の設問に対する肯定的回答率が85%を下回った。保護者アンケートからは、「3. 学校はコンピュータや図書室を十分活用している。」(54.7%)「10. 学校は英語学習など特色を生かした教育をしている。」(73.1%)の肯定的回答率が低かった。

また、昨年度と比べると低下しているが、全体的に保護者の評価の中に「分からない」「無回答」という割合がやや多く見られる。学校での取り組みや活動についての保護者への周知がまだ十分でないといえる。

3 今後の改善方策

以上の自己評価の分析から、本校の教育を保護者にどのようにアピールしていくかは重要な課題である。今後改善すべき課題と改善のための方策を次の項目で検討していく。

- 子どもの学力向上に向けての授業改善を図る。
- 学習に対する子どもの意欲の向上を図る。
- 教師自身の資質の向上に努める。
- コンピュータや図書室を活用した学習の改善を図る。
- 英語学習の改善を図る。
- 保護者がさまざまな教育活動を参観する機会を増やす。
- 学校公開の充実と特色ある教育活動への保護者の参加を図る。
- 学校からの情報発信を工夫する。